

水素を つくる はこぶ ためる つかう

世界初の技術実証を完遂

2022年春、川崎重工など7社は、世界初の褐炭から製造した水素を液化水素運搬船で日豪間を海上輸送・荷役する実証試験を完遂し、国際的な液化水素サプライチェーン構築が可能なことを実証しました。

40年以上の極低温技術を有する当社は、世界初の液化水素運搬船「すいそふろんていあ」および世界初の液化水素荷役実証ターミナル「Hy touch 神戸」を開発・建造しました。今後は商用化に向けて取り組みを加速していきます。

神戸液化水素荷役実証ターミナル
[Hy touch 神戸]

Hydrogen Road

水素が身近にある社会がすぐそこまで

水素には、カーボンニュートラルへの貢献のみならず
「世界各地でさまざまな方法でつくることができる」「エネルギーとして貯蔵ができる」などの利点があり、
エネルギー安全保障の観点からもその重要性が高まっています。

川崎重工は、液化水素運搬船や大型液化水素貯蔵タンク、水素燃料100%で発電できる
ガスタービンなど、サプライチェーンの上流から下流まで一貫した技術開発、商用化を進めています。
これまで培った技術やノウハウを活かして、さまざまな企業と協力し、水素社会をつくっていきます。

豪州で製造した水素を積荷し、帰港した液化水素運搬船
「すいそふろんていあ」
「シップ・オブ・ザ・イヤー 2021」(日本船舶海洋工学会
主催)および「第51回 日本産業技術大賞」(日刊工業新聞社
主催)内閣総理大臣賞(最高位)受賞。



ANSWERS

水素社会の実現に向け世界をリードする、
川崎重工の挑戦



ニュースリリース

世界初、褐炭から製造した水素を液化水素
運搬船で海上輸送・荷役する実証試験の
完遂式典を開催

水素を つくる はこぶ ためる **つかう**

世界初、水素燃料100%の ガスタービン発電による 市街地での熱電供給を達成

2018年、川崎重工など2社は、神戸市ポートアイランドにおいて、市街地における水素燃料100%のガスタービン発電による熱電供給を世界で初めて達成しました。この水素ガスタービンは当社が開発したものです。

当社は、産業用ガスタービン分野で培った自社技術を活かし、水素ガスタービン発電設備など水素燃料を「つかう」ことのできる製品群の開発を進めています。

水素が身近にある社会がすぐそこまで来ています。

水素コージェネレーションシステムの
実証プロジェクト(神戸市 ポートアイランド)

